



Wakate News Letter vol. 03

2008. 10. 2 発行

1. 活動報告

1) セミナー (08 年 9 月)

第 14 回: 2008 年 9 月 8 日 (月) 16:00 - 17:00

演題: Molecular Changes in the Human Heart

演者: Prof. Cristobal dos Remedios (University of Sydney)

会場: 医学系棟 4B482 / 世話人: Damein Hall

第 15 回: 2008 年 9 月 18 日 17:15 - 18:15

演者: 上村陽一郎 研究員 (Department of Cell Biology,

Johns Hopkins University School of Medicine)

演題: 走化性を制御する PIP3 非依存的 TorC2-PKBR1 経路に関する研究

場所: 総合研究棟 D 117 室 / 世話人: 増本博司

第 16 回: 2008 年 9 月 30 日 17:15 - 18:15

演者: 大庭良介 助教 (筑波大学 基礎医学系 感染生物学)

演題: パイオインフォマティクスの基礎知識

〜wet 実験者のかゆいところ

場所: 医学系学系棟 482 会議室 / 世話人: 長谷川潤、丹羽隆介

2) 業績 (08 年 9 月)

<原著論文>

Emil Avsar and Yoshitaka Hatta

Quantitative study of the transverse correlation of soft gluons in high energy QCD

J. High Energy Phys. JHEP09(2008)102

Hasegawa, H., Wang, F.

Visualizing Mechanosensory Endings of TrkC-Expressing Neurons in HS3ST-2-hPLAP Mice.

The Journal of Comparative Neurology (2008) in press

Wang B, Suzuki H, Kato M.

Roles of mono-ubiquitinated Smad4 in the formation of Smad transcriptional complexes.

Biochem Biophys Res Commun. 2008 Sep 8. [Epub ahead of print]

<学会発表・招待講演>

三浦謙治, Jing Bo Jin, Jiyoung Lee, Chan Yul Yoo, Vicki Stirm, 三浦友子, Edward N. Ashworth, Ray A. Bressan, Dea-Jin Yun, Paul M. Hasegawa

「SIZ1 による ICE1 の SUMO 化が低温ストレス応答を調節する」

第 26 回日本植物細胞分子生物学会 2008 年 9 月 2 日 大阪 (口頭発表)

西丸広史

「マウス新生児脊髄反抑制回路におけるシナプス結合様式」

生理学研究所研究会「新たなコンセプトでシナプス伝達機構を考える」

2008 年 9 月 19 日、岡崎 (招待講演)

八田佳孝, 松尾俊寛

Jet fragmentation and gauge/string duality

日本物理学会 2008 年秋季大会 2008 年 9 月 22 日 山形大 (口頭発表)

八田佳孝, Emil Avsar

BFKL 発展によるグルオンの横平面空間における相関の研究

日本物理学会 2008 年秋季大会 2008 年 9 月 23 日 山形大 (口頭発表)

Ryusuke Niwa

“Control of developmental timing in the nematode *C. elegans*: Roles of the Alzheimer's Amyloid Precursor Protein-like gene *apl-1* and a nuclear orphan receptor”

A special seminar at Université Pierre et Marie Curie, Paris, France

平成 20 年 9 月 15 日 (口頭発表)

Shunsuke Yaguchi, Junko Yaguchi, Robert C. Angerer, Lynne M. Angerer

Specification of oral/aboral ectoderm restricts ciliary band ectoderm and patterns neurogenesis in the sea urchin embryo

Frontiers in Developmental Biology, France

Noriyo Takeda, Yoko Nakajima, Shunsuke Yaguchi, Ryusaku Deguchi

The effects of hydra neuropeptides on the initiation of oocyte maturation and spawning in jellyfish *Cyanea uchidaei*

Frontiers in Developmental Biology, France

Kisaburo Nagamune

"Abscisic acid controls calcium-dependent egress and development in *Toxoplasma gondii*."

The 8th Awaji International Forum on Infection and Immunity, 2008 年 9 月 8 日, Hyogo Japan (招待講演)

Michiru Tahara, Taroh Kinoshita, Kisaburo Nagamune

"GPI-deficient mammalian mutant cell is hyper-sensitive to the infection with *Toxoplasma gondii*."

Molecular Parasitology Meeting, 2008 年 9 月 24 日, USA (ポスター発表)

<特許>

田邊和祐、遠山知子、永宗喜三郎、堀井俊宏

「マラリアの予防またはその治療剤」特願 2008-012693

3) 外部資金獲得状況 (08 年 4 月以降 新規獲得)

▼ 科学研究費補助金_文部科学省交付

<特定領域研究>

奥脇 暢: H20-H21 (320 万円)

「クロマチンダイナミクス制御因子の実体解明」

増本 博司: H20-H21 (460 万円)

「真核生物における経時老化を制御するクロマチン動態」

<若手研究(B)>

鈴木 裕之: H20-H21 (299 万円)

「Tsc-22 による幹細胞の増殖制御機構」

▼ 科学研究費補助金_日本学術振興会交付

<基盤研究(C)>

高崎 真美: H20-H22 (395 万円)

「胚性幹細胞を用いた感覚ブラコト形成の分子機構の解明」

西丸 広史: H20-H22 (330 万円)

「歩行運動中枢を構成する脊髄抑制性ニューロンの同定と生理学的解析」

<若手研究(スタートアップ)>

谷口 俊介: H20-H21 (294.2 万円)

「一次軸から二次軸へのシグナル伝達〜FoxQ2 から nodal まで〜」

丹羽 隆介: H20-H21 (294.2 万円)

「発生タイミングを制御するマイクロ RNA 経路の研究: アミロイド前駆体様分子の利用」

杉山 智康: H20-H21 (294.2 万円)

「新規キネトコア結合因子 Kap タンパク質群の機能解析」

杉山 梨恵: H20-H21 (294.2 万円)

「分裂酵母テロメアクラスター機構の解析」

▼ 戦略的創造研究推進事業_科学技術振興機構

<個人型研究(さががけ)>

杉山 智康: H20-H24 (4000 万円)

「RNA による染色体分配制御機構の解析」

▼ その他外部資金_財団等

＜研究助成_公益信託成茂動物科学振興基金＞

谷口 俊介：H20（50万円）

「ウニ胚発生における体軸形成メカニズムの解明」

＜笹川研究科学助成 海外発表促進助成_日本科学協会＞

谷口 俊介：H20（21.4万円）

「ウニ胚神経形成機構の解明」

＜持田記念研究助成金_持田記念医学薬学振興財団＞

永宗 喜三郎：H20（200万円）

「トキソプラズマ原虫の寄生成立に必須な宿主側因子群「パラサイトーム」の解析と抗寄生虫薬開発への応用」

4) 若手運営調整委員会よりお知らせ

○ 若手分子医学クラスシリーズについて

本クラスシリーズでは、大学院生・学群生を対象とした教育活動の一環として、若手イニシアティブメンバーが5人から8人程度の学生で構成されるクラスを運営しています。若手教員がそれぞれの個性を生かすことによって、各学生のレベルとニーズにあった多様な教育研究を目指しています。

▽ 最先端分子医学クラス（担当：鈴木裕之）

第1回 9/13 TGFbeta and cancer

Cutaneous cancer stem cell maintenance is dependent on beta-catenin signalling

第2回 9/20 IL-33 exacerbates antigen-induced arthritis by

activating mast cells
Robust stability of the embryonic axial pattern

requires a secreted scaffold for chordin degradation

第3回 9/27 Helicobacter pylori suppresses GSK3beta to promote

beta-catenin activity.
Development and Evolution of Chordate Cartilage

* 今後の予定：最新の文献紹介及び各自の研究テーマのレビュー

▽ 基礎医学総説クラス（担当：長谷川潤）

第1回 8/30 DNA 脱メチル化酵素I

第2回 9/6 DNA 脱メチル化酵素II

第3回 9/13 アポトーシスのミトコンドリア経路I

第4回 9/27 アポトーシスのミトコンドリア経路II

* 今後の予定：第5回10/4, 第6回10/11, 第7回10/25, 第8回11/1, 第9回11/15, 第10回11/22, 第11回11/29

▽ リガンド結合の定量的解析クラス（担当：Damien Hall）

第1回 9/6 The basic principles of operation of the BIAcore biosensor

第2回 9/13 Basic quantitative relationships for measuring receptor/ligand interactions using the BIAcore biosensor

第3回 9/20 Techniques for modeling and fitting data using the BIAcore biosensor

第4回 9/27 Coupling chemistries useful in BIAcore experiments

* 今後の予定：第5回10/4, 第6回10/11

○ 国際シンポジウム進捗について

別添資料をご確認下さい。

○ 研究補助員退職に伴う募集について

西丸氏の技術職員の募集を実施した（2008.9.5-30）

2. スケジュール（08年10月）

1日(Wed) 筑波大学開学記念日

2日(Thu) 11:00 - 13:00 振興調整費合同会議@総合研究棟D-115

11日(Sat) -13日(Mon) 筑波大学 学園祭

* 10日午後-13日夜：自転車・車両について一部エリアに交通規制あり。

18日(Sat)-19日(Sun) 各8:00 - 17:00 全学停電@筑波キャンパス
(電気設備点検 / 断水 / 学内ネットワークの停止を含む)

25日(Sat) -26日(Sun) 秋季スポーツ・デー@学内体育施設全般

* 26日12:30-16:00 交通規制あり。当該時間帯駅伝開催中は、学内駅伝コースで一般車両が通行止めとなります。ご注意ください。

29日(Wed) 8:30 - 15:00 筑波大学学長選考 意向調査学内投票日

* その他、不在者投票などのスケジュールは大学公式HP（教職員専用ページ）「学長選考日程等公示」でご確認ください。

3. 事務連絡

○ 若手教員の評価について

9月18日付にて、本プログラム採用若手教員の中間評価および最終審査（昇任審査）について通知が出され、要綱（評価方法：20.9.17 若手研究者育成推進委員会承認）が配付されました。評価はこれに基づき行われますので、ご確認ください。（ご不明な点の問合せ先：若手研究者育成推進委員会委員長）

○ H21年度科研関係スケジュール

＜生命環境科学研究科（生物・応生）＞

研究成果公開促進費（「学術図書」及び「データベース（研究成果データベース）」）

* 10月7日(火) 午前10時まで 若手支援室締切 点検・照査希望連絡

* 10月14日(火) 午前10時まで 若手支援室締切 点検・照査用

10月15日(水) 支援室（研究支援）締切 点検・照査用

10月21日(火) 返却

* 10月28日(火) 午前10時まで 若手支援室締切

10月29日(水) 支援室（研究支援）締切

特別推進研究、基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究（S・A・B）特定領域研究（継続）

* 10月10日(金) 午前10時まで 若手支援室締切 点検・照査希望連絡

* 10月20日(月) 午前10時まで 若手支援室締切 点検・照査用

10月21日(火) 支援室（研究支援）締切 点検・照査用

10月27日(月) 返却

* 10月31日(金) 午前10時まで 若手支援室締切

11月4日(火) 支援室（研究支援）締切

新学術領域研究（研究領域提案型（領域代表者）、研究課題提案型）

* 10月11日(火) 午前10時まで 若手支援室締切 点検・照査希望連絡

* 11月18日(火) 午前10時まで 若手支援室締切 点検・照査用

11月19日(水) 支援室（研究支援）締切 点検・照査用

11月26日(水) 返却

* 12月3日(金) 午前10時まで 若手支援室締切

12月4日(木) 支援室（研究支援）締切

新学術領域研究（研究領域提案型（計画研究の研究代表者））→ 領域代表者に確認

＜数理物質科学研究科（物理）＞

10月3日(金) 科研費研究者名簿登録期限

10月20日(月) 支援室チェック締切（新学術領域を除く）

10月30日(木) 支援室最終締切：2部提出（新学術領域を除く）

（チェック・最終版とともに提出は専攻事務室となります。）

新学術領域（課題提案型）支援室締切は11/28（金）です。

（領域提案型の計画研究代表者は、領域代表者が設定した締切りまでに提出。

なお、筑波大学の領域代表者は12/8（月）まで。）

＜人間総合科学研究科（医学）＞

10月17日(金) 支援室 チェック用締切（新学術領域を除く）

10月28日(火) 支援室 提出締切（新学術領域を除く）

11月6日(金) 大学本部締切（新学術領域を除く）

・ 新学術領域（領域代表者）および新学術領域（研究課題提案型）のチェックは随時行います。（各12/3（金）支援室締切、12/8（月）本部締切）

・ 新学術領域（研究計画・研究代表者）→ 領域代表者に要確認

Wakate News Letter vol.03 [平成20年10月号]
編集・発行：若手研究者運営調整委員会

*当ニュース・レターは、毎月1回定例会後に配付いたします。
連絡先：若手支援室 担当 佐久間 vivien@sec.tsukuba.ac.jp

Possible program of International Symposium (ver1.0)

11/8 Day 1

09:00 Opening remark

09:10 Plenary Lecture by Cavalier-Smith (Chair: Shiraiwa? Ishida?)

[Session 1. Evolution and diversity of plastid] (Chair: Ishida)

10:00 Jan Janouskovec (UBC)

“The plastid of *Chromera velia*: the ultimate solution for the chromalveolate hypothesis?”

10:30 Motomichi Matsuzaki (U of Tokyo)

“A cryptic plastid in the oyster pathogen *Perkinsus marinus*.”

11:00-11:30 Coffee break

11:30 (Chair: Yubuki)

Takeo Horiguchi (Hokkaido U)

“Endosymbioses and kleptoplasty in dinoflagellates”

12:00 Masahiro Fujishima (Yamaguchi U)

“Title to be announced”

12:00-14:00 Lunch

14:00 (Chair: Horiguchi)

Ensoo Kim (Dalhousie U)

“Ultrastructure and molecular phylogeny of the heterotrophic euglenid *Petalomonas sphagnophila* and its photosynthetic endosymbionts.”

14:30 Kerstin Hoef-Emden (U of Cologne)

“Diversity and systematics of the Cryptophyceae: Dimorphism, hidden genetic diversity and undersampling.”

15:00-18:00 Poster Session

18:30- Party at “Sansui-tei”

11/9 Day2

[Session 2. Biodiversity] (Chair: Ensoo Kim)

09:00 Kamran Shalchian-Tabrizi (U of Oslo)

“Cross-colonisation of marine and freshwater in *Telonemia*,

cryptomonads and *Perkinsea*.”

09:30 Satoshi Shimano (Miyagi U of Edu)

“Biological diversity of ciliates and testate amoebae in Japan.”

10:00-10:30 Coffee break

10:30 (Chair: Kamran Shalchian-Tabrizi)

Yuji Inagaki (U of Tsukuba)

“TBK055 as a novel member of “Discaba”. ”

11:00 Martin Kolisko (Dalhousie U)

“New isolates of *Carpodimonas*-like organisms and phylogeny of Excavata.”

11:30 Naoji Yubuki (UBC)

“Comparative morphology of enigmatic predatory flagellates.”

12:00-14:00 Lunch

[Session 3. Evolution of bio-system and organelle] (Chair: Inagaki)

14:00 Ryoma Kamikawa (Kyoto U)

“Elongation factor evolution in diatoms.”

14:30 Hiroshi Endoh (Kanazawa U)

“Evolution of apoptosis: a case study of ciliate nuclear apoptosis.”

15:00 Toshinobu Suzaki (Kobe U)

“SELF-NONSELF RECOGNITION IN PROTISTS: A possible evolutionary relationship between accurate prey discrimination by protists and recognition of pathogen in higher animals and plants.”

15:30-16:00 Coffee break

16:00 (Chair: Kisa Nagamune)

Andrew Roger (Dalhousie U)

“Diversity in organelles and genomes of anaerobic protists.”

16:30 Tomoyoshi Nozaki (National Inst Infect Dis)

“The mitochondria-related organelle in the anaerobic parasitic protozoon *Entamoeba histolytica*.”

17:00 Kiyoshi Kita (U of Tokyo)

“Title to be announced”

17:30 Closing remark

International Symposium on Protistology: Evolution and Diversity

日時：11月8, 9日(土, 日) 8:30 受け付け開始 9:00 講演開始

会場：筑波大学 総合研究棟 D (つくばエクスプレスつくば駅からバス 10 分)

アクセス：<http://www.tsukuba.ac.jp/access/index.html> (会場は筑波キャンパス南地区にあります)

招待講演およびポスターセッション

ポスター発表を希望される方は、10月24日までに「ポスター発表申し込み」という題で E メールを yuji@ccs.tsukuba.ac.jp までお送りください。E メールには、タイトル、発表者名、所属等の情報(英語)を添えて申し込んで下さい。

参加費無料

詳細は <http://www.biol.tsukuba.ac.jp/~algae/TPC/> をご覧下さい。

招待講演者

Special Guest

Thomas Cavalier-Smith (University of Oxford, UK)

Guest

Hiroshi Endoh (Kanazawa University, Japan)

Masahiro Fujishima (Yamaguchi University, Japan)

Kerstin Hoef-Emden (Universität zu Köln, Germany)

Takeo Horiguchi (Hokkaido University, Japan)

Yuji Inagaki (University of Tsukuba, Japan)

Jan Janouskovec (University of British Columbia, Canada)

Ryoma Kamikawa (Kyoto University, Japan)

Ensoo Kim (Dalhousie University, Canada)

Kiyoshi Kita (The University of Tokyo, Japan)

Martin Kolisko (Dalhousie University, Canada)

Tomoyoshi Nozaki (National Institute of Infectious Diseases, Japan)

Andrew J. Roger (Dalhousie University, Canada)

Kamran Shalchian-Tabrizi (University of Oslo, Norway)

Satoshi Shimano (Miyagi University of Education, Japan)

Toshinobu Suzaki (Kobe University, Japan)

Naoji Yubuki (The University of British Columbia, Canada)

Motomichi Mastuzaki (The University of Tokyo, Japan)

主催：科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進プログラム」

筑波大学「次代を担う若手大学人育成イニシアティブ」

筑波大学ブレ戦略イニシアティブ「地球—生命—人類の持続的共存のための新プロティストロジー創出へ向けた教育研究拠点形成」

お問い合わせ：稲垣祐司 yuji@ccs.tsukuba.ac.jp

Tsukuba Protistology Consortium

つくばプロティストロジーコンソーシアム

トップページ

シンポジウム

TPCとは

各研究室へのリンク

系統分類学

植物系統進化学

微生物分子進化学

ゲノム生物学

オルガネラ細胞生物学研究室

分子行動学

植物代謝生理学

環境微生物学

水圏生態学

古生物学

水資源保全学

リソース

筑波大学

生命環境科学研究科

国立環境研究所

国際プロティスト生物学シンポジウム「進化・多様性」

International Symposium on Protistology: Evolution and Diversity

このたび筑波大学において、国際シンポジウム“International Symposium on Protistology: Evolution and Diversity”を2日間にわたり開催致します。このシンポジウムでは、プロティストロジー（原生生物学）分野で活躍著しい国内外の研究者18名をお招きし、特に進化・多様性の視点からの最先端の研究成果を発表して頂きます。また、一般参加によるポスター発表も企画しております。ぜひ、ご参加ください。

日時

2008年11月8日(土)、9日(日)

8:30 受付開始、9:00 講演開始

場所

筑波大学 総合研究棟D (茨城県つくば市天王台1-1-1)

つくばエクスプレスつくば駅から筑波大学循環バス(左右どちら回りも可)で10-15分、平砂宿舎または大学西バス停(右回り)、あるいは天久保池バス停(左回り)から徒歩数分です
大学地図や他の経路についてはこちらを参照してください(会場は南地区です)

内容

招待講演、ポスター発表

参加費

無料(ミキサー参加費は別)

ポスター発表

大きさ: 120 x 120 cm 以内

使用言語: 英語

発表申込は以下の情報を yuji@ccs.tsukuba.ac.jp まで送付してください

件名は「ポスター発表申し込み」としてください

Title:

Author(s):

Institution(s):

申込締切: 2008年10月24日(金)

お問い合わせ

稲垣 祐司: yuji@ccs.tsukuba.ac.jp

招待講演者

Special Guest

Thomas Cavalier-Smith (University of Oxford, UK)

Guest

Hiroshi Endoh (Kanazawa University, Japan)

Masahiro Fujishima (Yamaguchi University, Japan)

Kerstin Hoef-Emden (Universität zu Köln, Germany)

Takeo Horiguchi (Hokkaido University, Japan)

Yuji Inagaki (University of Tsukuba, Japan)

Jan Janouskovec (University of British Columbia, Canada)

Ryoma Kamikawa (Kyoto University, Japan)

Ensoo Kim (Dalhousie University, Canada)

Kiyoshi Kita (The University of Tokyo, Japan)

Martin Kolisko (Dalhousie University, Canada)

Tomoyoshi Nozaki (National Institute of Infectious Diseases, Japan)

Andrew J. Roger (Dalhousie University, Canada)

Kamran Shalchian-Tabrizi (University of Oslo, Norway)

Satoshi Shimano (Miyagi University of Education, Japan)

Toshinobu Suzaki (Kobe University, Japan)

Naoji Yubuki (The University of British Columbia, Canada)

Motomichi Mastuzaki (The University of Tokyo, Japan)